

内 容：農薬の適正使用について



鎌田講師から説明

梨ほ場において実習の中で、病虫害防除について三角講師から説明を受けていたが、改めて座学として体系的に農薬・病虫害防除について講義を受けた。

最初に農薬の誤用（登録、使用回数、飛散など）についてその防ぎ方と散布時の注意、また使用後の保管等について詳細な説明を受けた。（資料のとおり）

特に梨栽培について病虫害防除が作業面、経営面で重要なため担い手を目指す塾生、サポーターを目指す塾生ともに非常に参考となった。



鎌田講師から説明2

また実際に使用する準備として農薬の対象作物、希釈倍率、使用量、使用時期、使用回数などラベルの記載内容を確認すること。さらにどの農薬を選択するかは、最近問題になっている「薬剤抵抗性」を考慮する必要があるとし梨の防除暦に基づき特にハダニ、カメムシ、黒星病を例に使用法のポイントを教わった。

塾生からは雨の前後の防除や天敵利用、住宅隣地での防除の注意点等について具体的質問があり1年間の研修の中で梨栽培に関する知識のレベルアップが感じられた。